

公開シンポジウム

キャリア教育の
評価指標って、
どうやって作るの？

キャリア教育の
アンケート結果を
どのように解釈したら
いいの？

教科を通した
キャリア教育の
評価はどうすれば
いいの？

日本では
良い取組はないの？

Hello!

どうする!?

キャリア教育の評価

— 国際比較研究から得たヒント —

※シンポジウムは無事終了いたしました。

※ご尽力を賜りましたコメントーターの先生方、全国各地からご参加いただきました皆様に深く御礼申し上げます。

本シンポジウムの趣旨と概要

新しい学習指導要領は、教育課程に基づき組織的かつ計画的に各学校の教育活動の質の向上を図っていく「カリキュラム・マネジメント」を各学校に求めています。その実現のためには、日々の教育実践の在り方や成果を振り返って評価し、改善を図ることが不可欠です。

無論、新学習指導要領が総則に位置づけて、小学校からの系統的な実践を定めたキャリア教育もその例外ではありません。各学校がキャリア教育を通して育てようとした力を、果たして本当に児童・生徒は身に付けたのでしょうか？ キャリア教育の実践と同時に、その成果を評価・検証していく必要があります。

けれども、先生方からは、「キャリア教育における評価の重要性は理解できるが、実際にどのようにすればよいかわからない」という声が強く出されているのが現状です。

そこで、このシンポジウムでは第1部として、2016年度から3年にわたって続けてきた5か国の海外調査と日本国内調査の成果の中から、先生方のヒントになる施策や実践を厳選し、アメリカ、フランス、マレーシア、日本における最先端の取組の特質と課題をわかりやすくお伝えします。第2部では、日本国内でのキャリア教育実践を牽引している3人のコメントーターからのご意見をお伺いした上で、ご参加の皆様と共にキャリア教育の評価の在り方について考えていきます。

多くの皆様のご来場を心からお待ちしております。

研究代表者：藤田晃之（筑波大学）

日時 2019年1月14日（月曜日・祝日）
13:00-16:00 ※12:30受付開始

会場

筑波大学東京キャンパス文京校舎
120番講義室
(東京都文京区大塚3-29-1)

※東京メトロ丸ノ内線
茗荷谷駅下車「出口1」より
徒歩5分程度

登壇者

発表者

- 藤田 晃之（筑波大学）
- 京免 徹雄（愛知教育大学）
- 柴沼 俊輔（東京都立科学技術高等学校）
- 石嶺 ちづる（高知大学）

コメントーター

- 角田 雅仁 氏（福島県棚倉町教育委員会子ども教育課 課長補佐）
- 西田 健次郎 氏（兵庫県教育委員会義務教育課 課長）
- 小池 楠男 氏（大分県立日田三隈高等学校 校長）

お申し込み（ご参加は無料です）

スマートフォン、タブレットなどから、下のQRコードをご活用の上お申し込み下さい。

会場の収容人数の都合上、事前に締め切らせていただく場合もございます。ご了承下さい。



当日ご参加の皆様方には研究成果をわかりやすくまとめたパンフレットをお配りいたします。



科研費
KAKENHI

本シンポジウムは、2016～2018年度JSPS科研費16H03791を受けて行った調査研究（基盤研究（B）「キャリア教育のアウトカム評価指標の開発に関する調査研究」）の成果に基づくものです。